

西成公民館だより

発行：西成公民館 発行日：令和4年(2022)1月1日 第130号
〒491-0012 一宮市小赤見字郷浦53(西成出張所内) ☎0586-77-3512

おはよう
おめでとう
ございます

コロナ警戒領域

愛知県と一宮市は昨年10月18日から「警戒領域」に入っていますが、改めて11月12日、「警戒領域適用期間中の感染防止対策について」と

題した要請が連区公民館長に送られてきました。

内容は、年の瀬を迎え公民館や店舗での会合が計画されると思われるが、「警戒領域」で示している感染防止対策を参考に感染の再拡大防止に協力して欲しいというものでした。

具体的には、1)感染リスクが高まる場面の回避<①飲食を伴う懇親会等 ②大人数や長時間に及ぶ飲食、マスク無しでの会話等>、2)基本的な感染防止策の徹底<①感染しない・させない ②大人数・長時間での会合の回避 ③会食・飲食は同一テーブルに4人まで・マスク会食>でした。公民館の利用にあたっては十分にご留意ください。

また、12月初めから「オミクロン」(新型コロナウイルス変異株)の発生と世界各国での感染例が連日のように報道されています。WHOは「懸念される変異株」に指定したと発表しました。

新型コロナウイルス第6波の襲来に厳重警戒する必要があります。

スポーツ大会(女子バレーボール)

本大会は公民館体育レクリエーション部が主催者となっていますが、実際にはスポーツ推進委員が中心となって企画運営する行事です。そのため、公民館行事が次々見送られる中でも計画は保たれていました。コロナのまん延が急減した10月半ばに参加希望を募ったところ、春明と小赤見のチームから参加の申し出があり、11月11日に公民館で打合わせの代表者会議を行い28日に赤見小学校屋内運動

場で実施されました。わずか2組の参加という折角の機会であり、要望により2試合が行われました。結果は、バレーボール人口が多いと言われる赤見校下チームが両試合とも勝利しました。



赤見小学校で開催の女子バレーボール大会

なお、2月20日にビーチボール大会が西成小学校・西成中学校を会場に予定されており、昨年11月から参加チームを募集しています。締切は今年1月14日です。詳しくは各校下のスポーツ推進委員までお問い合わせください。

第2回連区公民館長会議

第1回は令和2年4月15日に市役所大会議室で行われましたが、第2回は11月2日神山公民館(「いちのみや中央プラザ」1階)大会議室で開催されました。

主な議題は、①コロナの緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置発令に伴い一宮市が連区公民館に行く利用制限に関する要請のまとめ ②10月末時点におけるコロナ禍の下での各連区公民館活動の実施状況の報告でした。これによると、連区により差はありますが、全連区の公民館事業の平均実施率は約15パーセントでした。

本連区の実施率は0パーセントでした。これは昨

年から西成公民館が期日前投票所になったこと、他の連区で公民館が行っている「魅力ある地域づくり事業」を、本連区では「地域づくり協議会」が多く実施していることなどの事情があります。

本連区では毎年9～10月に家庭・青少年学習部、成人・高齢者学習部、女性学習部が主催する公民館事業を行っていますが、去年は衆議院総選挙の時期に重なってしまいました。



第2回連区公民館長会議

なお、西成連区の「地域づくり協議会」は一宮市で最も早く平成20年にスタートしました。

期日前投票所の利用状況

西成公民館は令和3年度から一宮市東部唯一の期日前投票所として利用されることになり、駅ビルの中央図書館と同様に10月25～30日の6日間投票所が設けられました。中央図書館投票所は約8,400人、西成公民館投票所は約4,700人の利用者があり、20日～30日の11日間開かれた市本庁舎・尾西庁舎・木曾川体育館の投票所は、それぞれ約11,000人の利用者があったようです。

本公民館投票所の利用者は、平日が約700人、土曜日が約1,200人でした。初めての期日前投票所であったため、今回は周知が不足していたと思わ

れます。利用する人が増え投票率アップに繋がることが期待されます。

大会議室の拡声装置

本公民館大会議室の収容人数は120名で、町会長協議会をはじめ西成連区組織の総会や多人数の講演会、団体などに利用されています。

しかし、コロナ禍のため令和2年春から総会は中止されており、感染防止対策を厳守しながら中規模の会議や人数を絞った講演会が開かれてきました。残念なことは放送設備が故障していて、ポータブルの拡声器を代用していたことです。他の連区公民館で発生した例によると、かなり修理費がかかるということから手付かずになっていました。

講演会利用の代表例は、西成連区地域づくり協議会の地域振興部会が主催する「にしなりの歴史を知ろう」で、年数回開催され、毎回50～60人の熱心な聴講者が来場されます。感染防止のために座席スペースを広くとり、講師はマスクを着用して話されることから、いつ来ても後方の座席ではよく聞こえないという苦情が館長に寄せられました。

そこで館長が放送設備を部分毎に点検した結果、メインアンプが働いていないようだということが分かりました。その通りならば修理費は余りかからないと推測されるため、報告書を作って市に再点検を要望しました。その後メインアンプが修理されて放送設備が復帰しました。11月1日の歴史講演会ではよく聞き取ることができました。



*本紙は「ホームページにしなり」(138nr.com)の「西成公民館」の窓からもご覧いただけます。

手洗い、マスクの着用、三密の

回避を心がけましょう!

